



【「地区中央病院」色丹分院】
(穴澗)

診療科目 8 科。ベッド数 25 床、外来 50 名まで対応可能。医師 8 名、看護師 16 名。文化会館向かいの小高い丘の上にある。

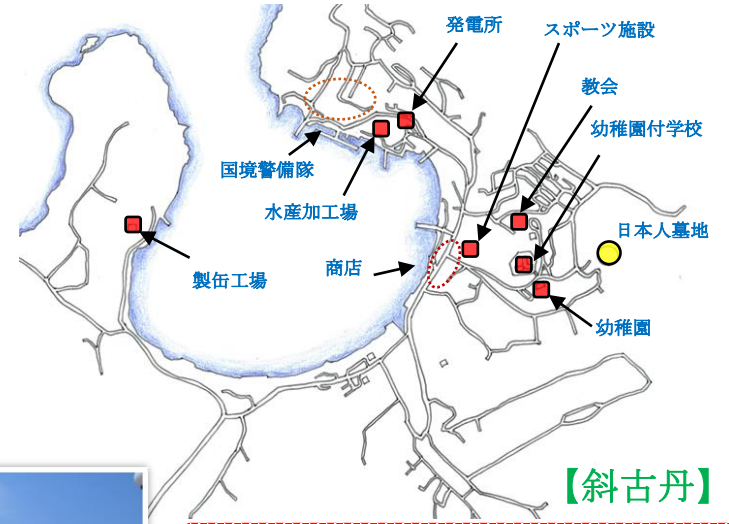


【ダニイル・モスコフスキー教会】
(斜古丹)

斜古丹湾を一望する高台にある。



【スポーツ施設 色丹アリーナ】
2016 年 11 月斜古丹にオープン。
球技コートや道場がある



【斜古丹】

斜古丹 (しゃこたん)

人口約 2,300 人。住民の他に国境警備隊員とその家族が暮らす。
漁業コンビナート「オストロブノイ」の基地があり、深水港のため大型船が停泊する。



【消防署】(穴澗)
斜古丹地区も管轄する。
消防車は 2 台配備されている。

【穴澗中等総合教育
学校】(穴澗)

11 年制小中高一貫校。
北海道東方沖地震で倒壊後、2006 年に新しく建設。

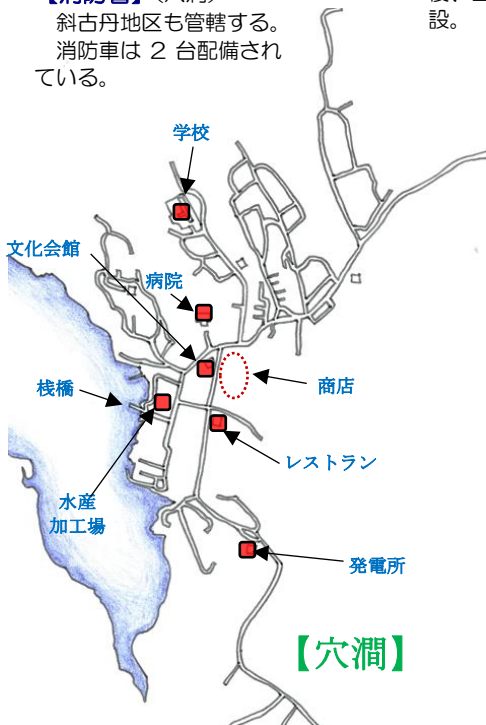


【斜古丹学校(右)・
オストロボーク幼稚園(左)】
(斜古丹)

東方沖地震で学校校舎が全壊後、2018 年に完成。
幼稚園は定員 110 名、11 年制の学校は定員 198 名。



【穴澗文化会館】(穴澗)
穴澗の中心部にあり、表敬訪問など
ここで行われる。
土曜日の夜はディスコとして利用される。



【穴澗】

穴澗 (あなま)

人口約 1,500 人。交流船「えとびりか」号が北方四島で唯一直接接岸できる栈橋がある。交流事業でよく使われる学校やレストランもこの村にある。



【ディーゼル発電施設】(穴澗)
1999 年に日本政府の人道支援により供与した発電所。ディーゼル発電機 860kw×3 基。

～島内インフラについて～

- 空港・・・ 色丹島に空港はないが、穴澗郊外にヘリポートがある。2016 年 12 月から週 2 回、国後と色丹の間を結ぶ。所要時間 40 分。
- 港・・・ 穴澗港と斜古丹港がある。従来の貨客船「イーゴリ・ファルフトジーノフ」号に、2021 年から新造船「アドミラル・ネベリスコイ」号と「パーヴェル・レオノフ」号が加わったと伝えられている。サハリン・択捉・色丹・国後を三隻体制で巡回し、斜古丹港に寄港する。サハリンからは約 22 時間かかる。また国後との間に定期的にはしけ船が往来し、貨客を運んでいる。
- 道路・・・ ほとんど舗装されていなかったが、2019 年市街地及び穴澗-斜古丹間道路のアスファルト舗装が始まったと伝えられる。島で走っている車の大半は日本製の中古車。
- 住宅・・・ 木造の集合住宅がほとんど。1994 年の北海道東方沖地震による倒壊住宅の放置等も多かったが、近年新規住宅の建設が進む。